安全データシート

Santa Cruz Biotechnology, Inc.
改定日 16-10-2015
バージョン 1.1

セクション1： 製品および会社情報

製品特定名

製品名	Parthenolide
製品コード	SC-3523
CAS番号	20554-84-1

化学薬品の推奨用途および使用制限
調査用途のみ。 臨床及び体外診断には使用できません。

安全データシートの提供者の詳細

Santa Cruz Biotechnology, Inc.
10410 Finnell Street
Dallas, TX 75220
831.457.3800
800.457.3801
scbt@scbt.com

Santa Cruz Biotechnology (Shanghai) Co., Ltd.
Building No. 2, Lane 315, No. 1-6, Jianye Road
Pudong New District, Shanghai, 201201
Telephone: (86 21) 6093-6350
Toll Free: 800-820-8626
asia@scbio.cn
001 800-1338-3838 (Hong Kong, Singapore, Thailand, Japan, Korea)
00 800-1338-3838 (Macau, Malaysia, Indonesia)
002 800-1338-3838 (Taiwan)

緊急連絡電話番号
Chemtrec
1.800.424.9300 (Within USA)
+1.703.527.3887 (Outside USA)

セクション2： 危険有害性の要約

化学物質または混合物の分類

生殖細胞変異原性	区分 2

ラベル要素

注意喚起語	警告
危険有害性情報	H341 - 遺伝性疾患のおそれの疑い
シンボル/絵表示	
注意書き - 予防	使用前に取扱説明書を入手すること 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと 指定された個人保護具を使用すること
注意書き - 対応	
注意書き - 保管	施錠して保管すること
注意書き - 廃棄	内容物/容器を承認を受けている廃棄物処理施設に廃棄すること

その他の情報

他に分類できない危険有害性(HNOC)	該当せず

セクション3： 組成および成分情報

分子量	248.3
処方	$C_{15}H_{20}O_3$
CAS番号	20554-84-1

化学物質名	CAS番号	重量%	ENCS	ISHL番号
Parthenolide	20554-84-1	100		

セクション4： 応急処置

一般的なアドバイス	直ちに医師の手当てを受ける必要がある。 事故が起きた場合または気分が悪い場合には、直ちに医学的助言を求めること(可能なら、取扱説明書または暗線データシートを見せること)。
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移すこと。 直ちに医師または毒物センターに連絡すること。 呼吸していない場合は人工呼吸を行うこと。 呼吸困難な場合は酸素を供給すること。
皮膚接触	直ちに多量の水で洗い流すこと。 汚染された衣服と靴を脱ぎ、直ちに石鹸と多量の水で洗い流すこと。
眼との接触	洗っている間、目を大きく開くこと。 直ちに医師の手当てを受ける必要がある。 少なくとも15分間、まぶたの裏側まで多量の水で洗うこと。 受傷部をこすってはならない。
経口摂取	無理に吐かせないこと。 意識のない者には、何も口から与えてはならない。 多量の水を飲むこと。 直ちに医師の手当てを受ける必要がある。 暴露現場から移し、寝かせること。 水で口内をすすいだ後、多量の水を飲むこと。 直ちに医師または毒物センターに連絡すること。
応急処置を行う者本人の保護	すべての着火源を排除すること。
医師に対する注意事項	この製品は腐蝕性物質である。胃洗浄または嘔吐の適用な禁忌である。胃穿孔または食道に穿孔がないか調べること。化学的解毒薬を与えないこと。声門の浮腫により窒息が生じるおそれがある。湿性ラ音、泡状の痰および高い脈拍圧を伴う血圧の著しい低下が発生する場合がある。 症状に応じて治療すること。

セクション5： 火災時の措置

引火性の特性	引火性が高い：熱、火花または炎で容易に引火する。
適切な消火剤	現地の状況および周囲環境に適した消火方法を用いること。
使ってはならない消火剤	利用可能な情報はない。
化学物質または混合物から生じる特有の危険有害性	本製品は眼、皮膚、および粘膜の薬傷を引き起こす。 熱分解すると刺激性かつ毒性のガスおよび蒸気を放出することがある。 火災および/または爆発時には、ヒュームを吸い込まないこと。
危険有害性燃焼生成物	二酸化炭素。
消火を行う者のための特別な保護具	自給式呼吸装置および保護服を着用すること。

セクション6： 漏出時の措置

個人に対する注意事項	人員を安全な区域に避難させること。 すべての着火源を排除すること。 特に閉め切った場所では十分な換気を確保すること。 人員を漏出/流出物から遠ざけ、風上に退避させること。 指定された個人保護具を使用すること。
環境に対する注意事項	安全に行えるなら、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと。 製品が排水路に入らないようにすること。 環境毒性の詳細情報についてはセクション12を参照のこと。
封じ込め方法	安全に行えるなら、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと。 粉末状の漏出物をプラスチックシートまたは防水シートで覆い、拡散を最小限にする。 液体流出物のかなり前方に防液堤を築き、後で廃棄する。
浄化方法	指定された個人保護具を使用すること。 粉末状の漏出物をプラスチックシートまたは防水シートで覆い、拡散を最小限にすると共に粉末を乾燥状態に維持する。 機械的にすくい取り、適切な容器に収容して廃棄すること。 粉塵の発生を避けること。 汚染された表面を十分に浄化すること。 防流堤を築いてせき止めること。 浄化後、痕跡を水で洗い流すこと。

セクション7： 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

安全取扱注意事項	特に閉め切った場所では十分な換気を確保すること。 熱、火花、炎およびその他の点火源(例えば、点火バーナー、電気モーターおよび静電気)から遠ざけること。 静電気に対する予防措置を講ずる。 火花を発生させない工具および防爆型の器材を使用すること。 製品の取扱時に使用する全ての器材は接地しなければならない。 皮膚および眼との接触を避ける。 換気が不十分な場合、適切な呼吸保護具を着用する。 十分換気のある場所または閉鎖型システム内でのみ使用すること。

保管

保管条件	密閉して乾燥した涼しい場所に保管すること。 適切な表示のある容器に保管すること。 容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。
混蝕危険物質	強力な酸および塩基と混蝕危険性。 酸化剤と混蝕危険性。

セクション8： 暴露防止および個人保護措置

管理パラメーター

暴露ガイドライン	この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない

適切な設備対策

技術的対策	特に閉め切った場所では十分な換気を確保すること。

個人用保護具(PPE)

呼吸用保護具	通常の使用条件下では保護具は必要ない。暴露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気および排気が必要になる。 換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
手の保護	長期にわたる、または反復した皮膚との接触が起こるおそれのある作業の場合は、不浸透性手袋を着用しなければならない。 手袋の材質の破過時間を超過していないか確認すること。 特定の手袋の破過時間については手袋の製造業者に照会すること。
眼/顔面の保護	密封性の高い安全ゴーグル。 顔面保護シールド。
皮膚および身体の保護	プラスチックまたはゴム製の手袋。 静電気防止靴。 防火服／防炎服／耐火服を着用すること。 皮膚との接触を防ぐために、ブーツ、手袋、白衣、エプロンまたはカバーオールを含む不浸透性の防護衣を適宜着用すること。 必要に応じて、ネオプレン製の手袋、長靴、または全身ボディスーツのような耐薬品性衣類を着用すること。 ゴム長靴。
一般的な衛生注意事項	取扱中は飲食禁止および禁煙。 機器、作業区域および衣類を定期的にクリーニングすることが推奨される。 飲食物、動物用飼料から離して保管する。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 皮膚、眼または衣類との接触を避けること。 汚染された衣類を全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 適切な手袋および眼/顔面保護具を着用する。

セクション9： 物理的及び化学的特性

物理的状態	固体
外観	利用可能な情報はない
臭い	利用可能な情報はない

特性	値
pH	利用可能な情報はない
融点/凝固点	115 °C
沸点	394.10 °C
引火点	166.34 °C
密度	1.13 g/cm³
蒸発速度	利用可能な情報はない
引火上限	利用可能な情報はない
燃焼の下限	利用可能な情報はない
蒸気圧	利用可能な情報はない
蒸気密度	利用可能な情報はない
比重	利用可能な情報はない
水への溶解度	利用可能な情報はない
他の溶剤への溶解度	利用可能な情報はない
分配係数	2.70
自然発火温度	利用可能な情報はない
分解温度	利用可能な情報はない
動粘性率	利用可能な情報はない
爆発性	利用可能な情報はない
酸化特性	利用可能な情報はない

セクション10： 安定性及び反応性

反応性	該当せず。
化学的安定性	推奨される保管条件下で安定。
機械的衝撃に対する感度	データなし。
静電放電に対する感度	データなし。
危険有害性反応の可能性	通常のプロセスではない。
危険有害性な重合	利用可能な情報はない。
避けるべき条件	熱、炎および火花。 長期間にわたる空気または湿気への暴露。
混触危険物質	強力な酸および塩基と混触危険性。 酸化剤と混触危険性。
危険有害な分解生成物	熱分解すると刺激性かつ毒性のガスおよび蒸気を放出することがある。 二酸化炭素。

セクション11： 有害性情報

急性毒性
毒性の数値尺度 - 製品情報
混合物の 0パーセントは未知の毒性を持つ成分で構成されている

短期的及び長期的暴露による直後の影響と遅発性の影響及び慢性的影響

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	利用可能な情報はない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	利用可能な情報はない。
感作	利用可能な情報はない。
生殖細胞変異原性	利用可能な情報はない。
生殖毒性	利用可能な情報はない。
STOT - 単回暴露	利用可能な情報はない。
STOT - 反復暴露	利用可能な情報はない。
吸引性呼吸器有害性	利用可能な情報はない。

セクション12：環境影響情報

生態毒性
混合物の 100%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている

残留性 •分解性	利用可能な情報はない。
生物蓄積	利用可能な情報はない。
移動性	利用可能な情報はない。

セクション13： 廃棄上の注意

残留物/未使用製品からの廃棄物	廃棄は、適用される地方、国、地域の法律および規制に従って行う必要がある。
汚染された梱包	容器を再利用してはならない。

セクション14： 輸送上の注意

	RID / ADR	IMDG	ICAO(空気) / IATA
	規制対象外	規制対象外	規制対象外
UN/ID番号	-	-	-
正式輸送品目名	-	-	-
危険有害性クラス	-	-	-
補助的な危険有害性クラス / ラベル	-	-	-
容器等級	-	-	-
環境危険有害性	-	-	-
特別条項	-	-	-

セクション15： 適用法令

国際インベントリー
製品中の全ての成分は、以下のインベントリーリストに記載されている
利用可能な情報はない。

X - **記載**
ENCS - 化審法の既存 •新規化学物質
KECL - 韓国既存化学物質目録
IECSC - 中国現有化学物質名録
EINECS/ELINCS - 欧州既存化学物質リスト*(EINECS)*/欧州届出化学物質リスト *(ELINCS)*

PICCS - フィリピン化学品・化学物質インベントリー
AICS - オーストラリア既存化学物質インベントリー
TSCA - 米国有害物質規制法セクション*8(b)*、インベントリー
DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト/非国内物質リスト

セクション16： その他の情報

改訂記録 利用可能な情報はない。

安全データシートで使用される略語および頭文字のキーまたは凡例
利用可能な情報はない

免責事項
このSDSは、JIS Z 7250:2010およびJIS Z 7252:2009(日本)の要件に準拠している。 この化学物質等安全データシートに記載されている情報は、その発行日の時点において、我々の知識、情報および信念のおよぶ限りにおいて正確なものです。ここに提示されている情報は、安全取扱、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、および放出の指針とすることのみを目的としたものであり、保証または品質仕様と考えるべきものではありません。この情報は、指定された特定の物質にのみ関連するものであり、本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と併用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシートの終端